

## 令和元年度第2回習志野市災害医療対策会議 会議録

1 開催日時 令和2年1月24日(金)午後7時30分～午後9時10分

2 開催場所 保健会館1階 検診室

3 出席者

【会長】 習志野市医師会 代表理事 豊崎 哲也

【副会長】 習志野市歯科医師会 会長 栗原 弘章

【委員】 習志野市歯科医師会 板谷 賢二

習志野市薬剤師会 青木 伸江

習志野市薬剤師会 宇野 弘展

千葉県済生会習志野病院 白石 博一

習志野第一病院 鎌田 尊人

津田沼中央総合病院 新井 通浩

谷津保健病院 成田 徹(代理出席:宮崎 正二郎)

習志野健康福祉センター長 杉戸 一寿

習志野市アマチュア無線非常通信連絡会 嶋野 忠雄

習志野市健康福祉部長 菅原 優

習志野市危機管理監 米山 則行

習志野市消防長 高澤 寿(代理出席:宮田 貴之)

【事務局】 健康福祉部 次長 松岡 秀善

健康支援課 主幹 埴 久子

係長 大塚 尚美

副主査 田嶋 越子

危機管理課 係長 高橋 宏明

4 議題

(1) 開会

(2) 議事

① 習志野市総合防災訓練について

1) 令和元年度総合防災訓練、災害医療本部及び応急救護所訓練の報告

2) 次年度の取り組みについて

② 「習志野市災害時医療救護活動マニュアル」の見直しについて

1) 現マニュアルの課題について

・風水害等の災害時の対応

・参集基準など

2) 見直しに係る体制とスケジュールについて

③ その他

(3) 報告

① 活動報告

1) 済生会習志野病院 災害訓練報告

② 研修報告

1) 「災害歯科保健医療体制研修会 東日本ブロック」

2) 「災害時支援薬剤師研修会」

(4) その他

(5) 閉会

5 会議資料

資料1 令和元年度習志野市総合防災訓練の結果

資料2 令和元年度習志野市災害医療本部及び応急救護所訓練 実施報告

資料3 令和元年の台風等への対応について

資料4 「習志野市災害時医療救護活動マニュアル」より参集基準の抜粋

資料5 令和元年度千葉県国民保護共同実動訓練について

6 議事内容

開会の前に、新型コロナウイルス関連肺炎について、事務局より報告。習志野市では、本日1月24日に、「習志野市新型インフルエンザ等対策連絡室」を設置し、情報収集体制となった。

(1)開会

【豊崎会長】

「習志野市審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、本日の会議は公開となる。傍聴希望者はなし。代理出席者、随伴者の発言について、会長が指名した場合に限ることの承認を得る。

(2)議事

① 令和元年度総合防災訓練、災害医療本部及び応急救護所訓練の報告

【米山委員】

資料1の9月8日に実施された総合防災訓練の結果について報告。市民の要望を取り入れた時間配分及び個別課目訓練の訓練を実施し、参加者から高い評価が得られた。当日の暑さ対策、幅広い年代の方の参加が課題。

【健康支援課田嶋】

災害医療本部及び応急救護所での訓練の実施報告。総勢90名の参加となった。医療本部では、4病院と4応急救護所から音声と画像通信で入ってくる大量の情報を受け、災害医療コーディネーター、行政担当と調整し、ホワイトボードに情報を管理しフィードバックしていた。

各応急救護所は協力して設置もスムーズに行え、それぞれミッションを応用しながら

ら訓練が行えていたよう。

1つ目の目標、役割分担を事前に決めていたこともあり、各自アクションカードに基づき役割が遂行できていた。有事の際には参集メンバーで役割を決めて遂行していくことが求められる。

2つ目の目標、トリアージ訓練・情報伝達訓練については、今までの訓練の中で最もスムーズな設置・実施ができた。課題としては、大量な情報が入るため、報告・記録すべき情報を選択する必要がある。

3つ目の目標、一次トリアージについては、事前の研修会もあり、訓練中は的確なトリアージができていた。各救護所での後半の訓練も実施し、トリアージの理解が深まったと思われる。

次年度以降の課題として、応急救護所の役割を市民へ周知すること、傷病者役を配置する訓練や医薬品等の要請など、より現実的な訓練の実施を検討したいと考える。

【健康支援課主幹 埜】

市民に周知していく段階と考える。将来的に傷病者役を市民にお願いしていきたいが、段階的に保健会館から傷病者役の配置をしてみてもどうかと考える。

また、危機管理課の市民への説明会の際に応急救護所のチラシを配布したり、市ホームページ等で周知していきたい。

<質疑>

【鎌田委員】

災害医療コーディネーターとして、応急救護所の様子が分からないので、見学させてほしい。

また、習志野市としてこの訓練を外部の専門家に評価してもらうのはどうか。

【健康支援課主幹 埜】

災害医療コーディネーター研修に出席された先生が増えてきているので、災害医療コーディネーターの先生に応急救護所の訓練を見てもらうのはよい。

また、外部の視点ということでオブザーバーに来てもらうことも考えていきたい。

【鎌田委員】

災害医療に詳しい先生を呼んではどうか。

【健康支援課主幹 埜】

予算がからむので、相談させていただきたい。

【米山委員】

来年度の市の防災訓練は、避難所の会場を絞って実施することも検討している。応急救護所のあるところを残すということもできると思う。

【白石委員】

他の市町村の訓練を見学にして参考にするのもよいかと思う。

【健康支援課主幹 埜】

近隣市で訓練をやっているところは把握していない。県が把握していると思うので、確認したい。

【豊崎会長】

確かに医師会でも近隣では訓練をしているところは聞かない。他県に行かないと難しいかもしれない。

【宇野委員】

応急救護所で無線の担当をした。無線のやりとりで、聞き逃すことがあるので、ボイスレコーダーを置くのはどうか。

【嶋野委員】【青山】

聞こえなかった、聞き取れなかった、と聞き直してもいいのでは。

最新の無線機には装置に音声録音機能がついている。買い替えの際は検討してもよいか。

録音したものを聞くことは、効率が悪いかもしれない。

【栗原副会長】

聞き間違えないためには、ゆっくり話す、大切なことは復唱するように徹底したらよい。

【健康支援課主幹埜】

ID5100は録音機能が付いているか。

【青山】

最新の機器には付いている。

分からなかったら聞き返すことは必要。

【豊崎会長】

聞き取れなかったら確認することと、併せてボイスレコーダーを置いて実施してみるのも一つの方法かもしれない。

他に訓練についての感想はあるか。

【谷津保健病院宮崎】

傷病者の受け入れに関して、4病院で機能分担があるのか。

【新井委員】

毎月の無線訓練をやっている中でも、透析センターがあるのは津田沼中央総合病院なので、クラッシュ症候群の患者は受けるようにしている。また、距離が近い応急救護所から受けるようにしている。例えば、谷津保健病院には七中または一中からの患者をお願いしている。また、できるだけ赤トリアージは拠点病院である済生会習志野病院をお願いしている。

【白石委員】

済生会習志野病院がすべての赤を診ることができるかという、実際は難しく、搬送に回すことになると思う。災害拠点病院なので、基本的には受けることにはなると思うが、習志野市内での多発外傷などをどこで診るのかは課題であると思う。

【豊崎会長】

医療本部のコーディネーターの課題でもあると思う。

【杉戸委員】

初めて習志野市の訓練を見学し、医療本部と応急救護所を見学した。

訓練の中でアマチュア無線使用しているところは初めてであり、画像の送信ができることも初めて知った。来年度もぜひ参加したい。

【鎌田委員】

情報伝達は、ライフラインが使える状態でも、アマチュア無線を使っていくのか、メインはどうするか。

無線のいいところは全部が聞こえるので、情報共有ができる。

ライフラインが使えるときは予備として活用するのか。

【健康支援課主幹 埜】

総務省は Wi-Fi 環境で通信手段を確保したいと考えているようだが、今回の台風で停電時は全滅だった。

電話・メール・FAX・アマチュア無線、複数の情報手段をもっているというのは強い。

ライフラインがあるときは、電話・メール・FAX が使い慣れていて速いと思う。

アマチュア無線はうまく使っていきたい。

【鎌田委員】

そのライフラインが使えるときの訓練をしていないので、その訓練をしたほうがいいのではないかと。

【健康支援課主幹 埜】

以前、電話が復旧した想定でやってみたがうまくいかなかったので、訓練でやるべきであるとする。

【豊崎会長】

途中でライフラインが使えなくなることもあるため、いろんなパターンをやってみよう。

## ② 「習志野市災害時医療救護活動マニュアル」の見直しについて

【米山委員】

昨年の台風による風水害対応について報告（資料 3 参照）

9 月 8 日からの台風 15 号、前日の気象庁の情報から情報収集体制であったが、夜中に習志野市を直撃した。災害対策本部設置し、明け方に土砂災害避難所開設したが避難者ゼロであった。気象情報を過信し、避難情報の発出が遅れたという反省。

その後、南房総市へ職員派遣（保健師・消防・危機管理）を行った。

10 月台風 19 号

4 日前から事前準備し、樹木の伐採・排水溝の清掃などを行った。

当日、8 時半に職員参集、10 時に避難所開設し、市内全域に避難勧告。

避難者 1,054 名であった。進路は西側に反れ、被害は少なかった。

避難勧告が出たら全員避難所に行くと思っている市民が多かった。

台風 21 号による大雨

市内でがけ崩れ 1 件発生し、避難者数 11 名。

これらの反省を踏まえて、地域防災計画など見直ししている。

【豊崎会長】

災害について共有したい情報がありましたらお願いします。

【嶋野委員】

音声デジで聞いていた。ハンディ機で情報収集ができる。

【豊崎会長】

音声デジ、相手の発信ないと情報が入ってこなかった。

【嶋野委員】

市役所 GF と同じようなシステムが鹿野山にある。自家発電装置もある。南房総市、鴨川にも無停電装置がある。今回聞いていたが緊急の通話はなかった。

今回、南房総市と市役所 GF は繋がっていたはず。

【鎌田委員】

せっかく習志野市はアマチュア無線をやっているのに何もできなかった。医療という応援は必要なかったが、この無線システムで支援ができたのではないか。

【豊崎会長】

次の現状のマニュアルの課題に進みます。

【健康支援課田嶋】

① 現マニュアルの課題について（資料4参照）

・風水害時の参集基準が現状と適してない。

現マニュアルでは、特別警報が出たら医療本部は自動参集となっている。

・地震参集基準の震度5強では被害状況にもよるが通常の診療を継続できることが予測される。震度6弱で参集でもよいのではないかと考える。他市では震度6弱という基準で参集となっているところもある。

【健康支援課主幹埜】

・病院前救護所の考え方

以前から課題になっているが、近隣市は病院前救護所を設置するという方向に移行してきている。

② 見直しに係る体制とスケジュールについて

医師会から4名程度、歯科医師会・薬剤師会から各1名程度で、マニュアル作成の際にもご協力いただいたような部会形式でマニュアルの見直しをしていきたい。

優先度の高いところから着手し、案ができたところからこの会議にかけていきたい。

【米山委員】

地域防でも参集基準を変えていく予定であるため、参考にさせていただきたい。

【豊崎会長】

委員より賛同を得られたため、部会形式で、マニュアル見直ししていく。

（3）報告

・済生会習志野病院 災害訓練報告【白石委員】

・災害歯科保健医療体制研修会 東日本ブロック【栗原副会長】

・災害時支援薬剤師研修会【青木（伸）委員】

(4) その他

【米山委員】令和元年度千葉県国民保護共同実動訓練（1月29日実施）の案内  
（資料5参照）

(5) 総括

【栗原副会長】

課題が見つかったので、今後どうするかというのが重要となる。マニュアルの見直しなど具体的な方針が決まったので、実行していきたい。今回の台風は想定外だったが、皆様のご協力で想定外ということがないように準備していきたい。

<事務局より>

【健康支援課係長大塚】

次年度の訓練日程について決まり次第お伝えしますので、会員への周知をお願いします。

【健康福祉部次長松岡】

様々な立場からいろいろな意見を出していただきまして、ありがとうございました。想定外だったことを想定の範囲内という形にしていきたい。

マニュアル見直しや風水害の対応、新型コロナウイルスなど、災害時のマニュアルには完成ということではなく、常に様々な状況への対応を一緒に考えていただきたい。

(6) 閉会

【豊崎会長】

これにて、令和元年度第2回習志野市災害医療対策会議を閉会する。